



フィット感Up!で、走りと快適性を磨く

## 享楽のRACER SHOES探し

text●菊地武洋 photo●和田やすか

10年ひと昔ではないが、ここ数年のレーサーシューズの進化は驚くばかり。ピックリするほど軽くなつて、アッパーはしなやかに、それでいてしっかりとホールド力もアップ。そして、2015年モデルも発表されて、来シーズンのラインナップが明らかになった。いいシューズと出合えれば、それだけでライドが楽しくなる。

僕がレーサーシューズを作るときに、大切なポイントとしているのがカカトです。一般的な靴と違つてレーサーシューズは着地しません。なので、ヒールカップの重要性は低いという人もいます。ですが、じつはカカトの位置が重要なことです。

ペダリングをするとき、100の力でペダルを踏んだら、そのままダイレクトに100の力が伝わるのが理想ですよね。ただ、実際はそうならない。プロネーションといって、足に力が加わつたときに、足首が内側に倒れ込んでしまう。これは走るとき、着地時に衝撃を和らげる効果もあるし、自然なことです。ただ、それが少ない理想的な状態（ニュートラルプロネーション）にしてあげるのが、

体に触れるパーツは難しい。サドル、ハンドル、シューズの3つのパーツを妥協なしに試し、購入するには相当に難しい話だ。とはいって、どのパーツも快適性に大きく関わってくるだけに、できるだけ妥協はしないほうがいい。

ならば、まずは理想のシューズとはどんなモノなのかを知るのが先決。サイクリストでオーダーシューズを神奈川県茅ヶ崎市で製作している、ノグチ靴工房の野口マサジさんを訪ねてみた。